

# JALOS ニュース

Japan Lubricating Oil Society

2024 8月号

## JALOS 技術講習会「初級コース 試験・分析方法の体験研修」開催

2024年7月25日（木）及び26日（金）の2日間にわたり、当協会技術センターにおいてJALOS技術講習会「初級コース 試験・分析方法の体験研修」を開催いたしました。多数の方の参加を得て、講義と体験研修が行われました。講義と体験研修の内容は、次のとおりです。

### 【講 義】7月25日（木）

講師：ENEOS株式会社 中央技術研究所

ソリューションセンター 試験分析グループ

上席研究員 中野 幸弘 氏

### 「試験・分析方法と目的」

潤滑油に関する各種試験・分析方法の目的と概要、サンプリングにおける注意事項、得られた試験結果の見方や妥当性の確認等について解説。また、最新の潤滑油の動向や試験機器の精度管理及び試験・分析における環境と安全などについても解説。



## 目 次

- |                                      |            |
|--------------------------------------|------------|
| 1. JALOS 技術講習会「初級コース 試験・分析方法の体験研修」開催 | 5. 潤滑油需給統計 |
| 2. JALOS 技術講習会「初級コース・潤滑油添加剤」開催のご案内   | 6. お知らせ    |
| 3. JALOS 技術講習会「初級コース・工業用潤滑剤」開催のご案内   | 7. 協会の動き   |
| 4. JALOS 技術講習会「初級コース・車両用潤滑油」開催のご案内   | 8. 今後の予定   |

一般社団法人 潤滑油協会

URL <https://www.jalos.or.jp/>

【体験研修】7月26日（金）

講師：JALOS 技術センター職員

「一般物性の体験研修」

基本的な物性である動粘度、密度、中和価、水分、灰分などの項目について解説し、エンジン油を用いて動粘度や中和価の測定を行い、自動・手動による試験方法間のデータの関係などについて研修。

「機器分析の見学研修」

機器分析法による潤滑油の分析の中で、赤外分光、硫黄分、窒素分などの分析法について解説の後、エンジン油等を用いて赤外吸収スペクトル及び窒素分の測定を行い、数値の読み方、解析法などについて研修。



【 DVD の貸出しを行っています 】

当協会は、潤滑油の世界を視覚的に捉えていただくために DVD の貸出しも行っています。

潤滑管理シリーズ（約 25 分／本）

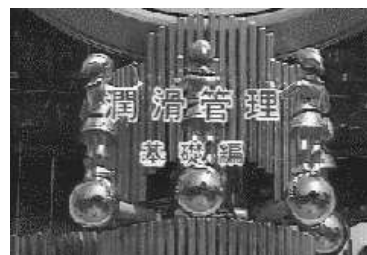
No.1 潤滑管理・基礎編、No.2 潤滑管理・実践編、No.3 軸受の潤滑管理、  
No.4 歯車の潤滑管理、No.5 油圧装置の潤滑管理、No.6 圧縮機の潤滑管理、  
No.7 切削加工の潤滑管理、No.8 油分析による管理手法・基礎編、  
No.9 油分析による管理手法・実践編

潤滑油役割りシリーズ（約 25 分／本）

No.1 広がる潤滑油剤の働き、No.2 人に優しく地球にやさしく

ご要望がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

〒273-0015 千葉県船橋市日の出二丁目 16 番 1 号  
一般社団法人潤滑油協会 技術センター 技術相談室  
TEL 047-433-5181 FAX 047-431-9579  
URL <https://www.jalos.or.jp>



## ◆ JALOS 技術講習会「初級コース・潤滑油添加剤」開催のご案内 ◆

先月号でもお知らせいたしましたが、2024年度 JALOS 技術講習会「初級コース・潤滑油添加剤」を下記の日程で開催いたします。

この講座では、潤滑油の使用目的を満足させるように基油に調合されている潤滑油添加剤の種類と働きについて解説します。添加剤は基油が持っている性能を更に高めるため、また基油が本来持っていない性能を新たに加えるために添加されます。潤滑油は一般家庭から産業活動までの幅広いフィールドで、寒冷条件下、高温高荷重箇所、腐食性雰囲気下といった様々な環境のもとで使用されます。そのために求められる必要な性能、特性は基油と添加剤の組み合わせの技術によって支えられています。

潤滑油添加剤の基礎知識の修得、併せて地球環境の改善を推進するためにも多数の方が受講されることをお勧めいたします。

## 【講座概要】

**受講対象者：**潤滑剤関係業務（経験 1～3 年程度の方）

日常業務において潤滑油添加剤に興味をお持ちの方

**日 程：**2024 年 10 月 24 日（木）

**会 場：**化学会館（東京都千代田区神田駿河台 1-5）

[JR 中央線・総武線 御茶ノ水駅]

[地下鉄丸ノ内線 御茶ノ水駅]

[地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅]

**内 容：**潤滑油添加剤の基礎

**講 師：**シェブロンジャパン株式会社 テクノロジーセンター

ドライブライン&ハイドロリクス 理学博士

中川 貴洋 氏

**定 員：**30 名（先着順）

**受 講 料**（テキスト代、消費税を含みます。）

：正会員 12,400 円 賛助会員 19,000 円

特別会員 15,700 円 一 般 26,700 円

**問 合 せ 先：**一般社団法人 潤滑油協会・JALOS 技術講習会担当

TEL 047-433-5181 FAX 047-431-9579

URL <https://www.jalos.or.jp/>



※詳細につきましては、同封の開催案内をご覧ください。

◆ JALOS 技術講習会「初級コース・工業用潤滑剤」開催のご案内 ◆

2024年度 JALOS 技術講習会「初級コース・工業用潤滑剤」を下記の日程で開催いたします。

この講座では、潤滑技術に関する第一線の専門家を講師に招き、工業用潤滑剤の日常管理に関する基礎的事項の習得を目的としています。工業用潤滑剤について、工業用潤滑油、金属加工油、グリースに大別し、その種類と特性、要求性能及び選定・管理方法、トラブルシューティング、環境対策、労働安全等一連の管理手法について具体的にやさしく解説します。生産性の向上と地球環境の改善を推進するためにも、多数の方が受講されることをお勧めいたします。

【講座概要】

受講対象者：●潤滑剤関係業務経験 1～3 年程度の方 ●業務において潤滑剤に興味をお持ちの方。  
●潤滑管理の実践を目指す方 ●潤滑管理をサポートされる方。

日 程：2024年11月12日（火）、13日（水）

会 場：化学会館（東京都千代田区神田駿河台1-5）  
[JR 中央線・総武線 御茶ノ水駅]  
[地下鉄丸ノ内線 御茶ノ水駅]  
[地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅]



内 容：<第1日目> 13:30～17:30

① 「工業用潤滑油と管理」

講師：コスモ石油ルブリカンツ株式会社  
技術部 技術統括グループ 山田 賢司 氏

<第2日目> 9:30～16:30（12:30～13:30 昼休憩）

② 「金属加工油と管理」

講師：ユシロ化学工業株式会社 技術本部  
技術統括部 商品技術1部 部長 丹野 幸雄 氏

③ 「グリースと管理」

講師：中京化成工業株式会社  
技術研究所 潤滑油グループ 課長 村瀬 圭祐 氏  
同グループ 係長 山本 真吾 氏  
<日本グリース協会 技術委員会推薦>

定 員：20名（先着順）

受 講 料（テキスト代、消費税を含みます。）：

正会員 18,700円 特別会員 22,000円 賛助会員 25,300円 一般 33,000円

問 合 せ 先：前掲

※詳細につきましては、同封の開催案内をご覧ください。

## ◆ JALOS 技術講習会「初級コース・車両用潤滑油」開催のご案内 ◆

2024年度 JALOS 技術講習会「初級コース・車両用潤滑油」を下記の日程で開催致します。

この講座では、潤滑油の代表選手である車両用潤滑油を語るうえで欠かすことのできない規格の変遷、今後予測される将来の動向等についてご紹介します。また、エンジンの高性能化、ミッション機能の向上により高まるオイルへの要求性能を満足するために必要なオイルデザインの基礎項目、基本的な考え方について解説致します。一方、社会的要望の高まりとともに、市販の製品として備えていなければならない環境性能についても具体的にお話しします。

車両用潤滑油の基礎知識の修得、並びに地球環境の改善を推進するためにも、多数の方が受講されることをお勧め致します。

## 【講座概要】

受講対象者：・潤滑剤関係業務経験 1～3 年程度の方  
・日常業務において車両用潤滑油に興味をお持ちの方

日 程：2024 年 12 月 13 日（金）

会 場：化学会館（東京都千代田区神田駿河台 1-5）  
[JR 中央線・総武線 御茶ノ水駅]  
[地下鉄丸ノ内線 御茶ノ水駅]  
[地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅]

内 容：①「ガソリン・ディーゼルエンジン油」  
講師：元 日本石油株式会社  
工学博士 加賀谷 峰夫 氏

②「駆動系潤滑油（ATF、ギヤ油等）」  
講師：市橋潤滑技術士事務所  
（元出光興産株式会社）  
工学博士 技術士（化学） 市橋 俊彦 氏

定 員：30 名（先着順）

受 講 料（テキスト代、消費税を含みます）：

正会員 10,900 円 特別会員 14,200 円 賛助会員 17,500 円 一般 25,200 円

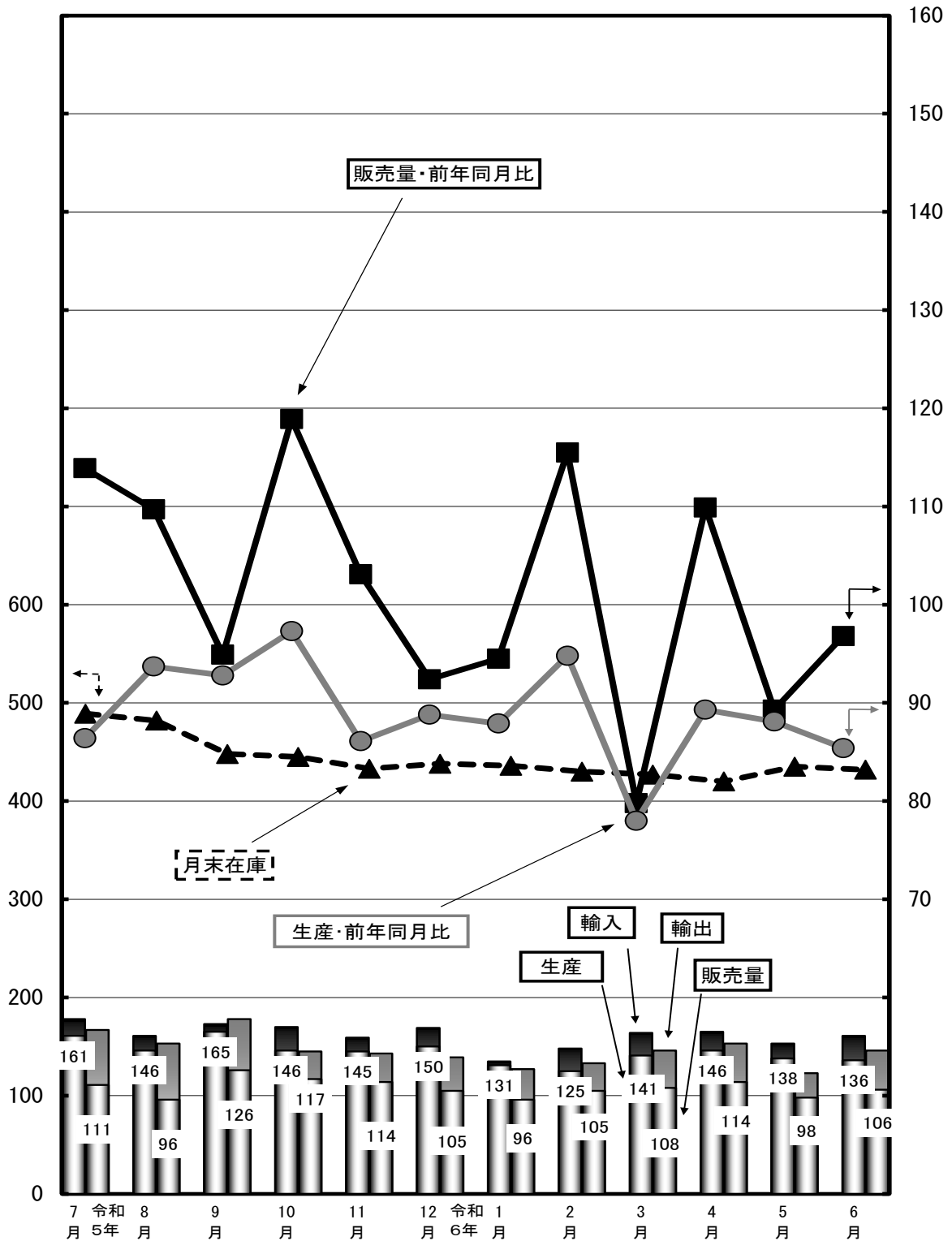
問 合 せ 先：前掲



※詳細につきましては、同封の開催案内をご覧ください。

## 潤滑油需給統計

6月の生産量は136千kLで前年同月比で14.6%下回り、販売量は106千kLで3.2%下回った。  
 (千kL) (%)



出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報（注：棒グラフ上段の数字は生産量、下段の数字は販売量）

潤滑油需給統計（時系列表）

（単位：kL）

年 月	生産	輸入	国内向販売	輸出	在庫	生産部門		販売部門 (製造業者・輸入業者)	
						生産部門	販売部門	生産部門	販売部門
令和 3年	2,008,464	270,105	1,469,039	766,211	450,916	168,202			282,714
4	2,537,781	267,620	1,780,609	809,205	488,975	171,799			317,176
5	2,376,453	239,176	1,861,998	601,426	438,411	143,009			295,402
令和 4年度	2,597,144	275,943	1,885,021	781,020	492,952	176,856			316,096
5	2,293,512	217,672	1,835,283	523,212	427,487	154,085			273,402
令和 5年4~6月	614,502	70,448	455,570	169,694	499,524	169,182			330,342
7~9	604,909	40,219	470,209	165,286	447,822	158,715			289,107
10~12	564,856	56,936	472,626	90,744	438,411	143,009			295,402
令和 6年1~3月	509,245	50,069	436,878	97,488	427,487	154,085			273,402
4~6月	538,237	59,116	448,569	104,589	431,597	151,215			280,382
令和 5年 4月	210,057	24,084	146,335	59,790	502,920	180,905			322,015
5月	201,108	28,890	155,395	63,404	499,903	176,975			322,928
6月	203,337	17,474	153,840	46,500	499,524	169,182			330,342
7月	206,158	16,880	156,756	56,386	489,193	164,805			324,388
8月	187,265	15,024	135,528	56,944	481,643	173,816			307,827
9月	211,486	8,315	177,925	51,956	447,822	158,715			289,107
10月	186,361	24,237	164,805	27,710	445,202	149,802			295,400
11月	186,224	13,974	160,238	28,702	432,845	139,975			292,870
12月	192,271	18,725	147,583	34,332	438,411	143,009			295,402
令和 6年 1月	168,015	4,276	135,684	31,326	435,807	148,552			287,255
2月	160,481	22,968	148,595	28,001	429,828	145,362			284,466
3月	180,749	22,825	152,599	38,161	427,487	154,085			273,402
4月	187,500	19,087	160,821	38,902	419,883	151,806			268,077
5月	177,118	15,466	138,799	25,206	435,006	154,444			280,562
6月	173,619	24,563	148,949	40,481	431,597	151,215			280,382
前年同月比 (%)	85.4	140.6	96.8	87.1	86.4	89.4			84.9

※「国内向販売」は調査対象が調査対象以外（消費、卸売又は小売事業所）へ販売した数量（理論値）を示す。  
 ※令和 4 年 4 月分より潤滑油の集計方法の改訂が行われました。詳細は JALOS ニュース No.337 をご覧ください。

製造業者・輸入業者の消費者・販売業者向販売、在庫内訳

（単位：kL）

区 分	消費者・販売業者向販売	(前年同月比 %)	在 庫	(前年同月比 %)
潤滑油計(R6年6月)	154,153	(87.3)	280,382	(84.9)
ガソリンエンジン油	22,879	(72.9)	25,452	(68.7)
ディーゼルエンジン油	13,596	(83.3)	12,668	(77.9)
その他 車両用	14,752	(77.8)	15,309	(63.2)
船舶用エンジン油	9,746	(105.2)	8,582	(65.7)
機 械 油	20,395	(80.2)	21,636	(82.1)
金 属 加 工 油	9,423	(81.6)	13,596	(96.0)
電 気 絶 縁 油	5,081	(99.9)	7,738	(286.3)
その他特定用途向け	38,960	(122.6)	103,638	(85.4)
その他	19,321	(72.2)	71,763	(95.5)

出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報

## お知らせ

### ○「GX 推進機構の金融支援事業に関する支援基準」について

経済産業省は、8月13日付で、脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律（令和5年法律第32号）（以下「GX推進法」）第57条第1項の規定に基づき、GX推進機構（以下「同機構」）が債務保証等の金融支援業務を実施し支援案件を決定する際に、同機構が従うべき基準を定め、公表しましたのでお知らせ致します。

#### 1. 背景

同機構は、今後10年間で150兆円超のGX投資を実現するため、本年5月に設立され、本年7月より業務を開始しました。経済産業大臣は、GX推進法第57条第1項の規定により、同機構が債務保証等の金融支援の対象となる事業者及び支援の内容を決定する際に、同機構が従うべき基準を定めるものとされており、今般当該基準を定めたものです。

#### 2. 支援基準の概要

##### (1) 金融支援に当たって同機構が従うべき基準

次の1. から5. までに定める基準をいずれも満たす案件を支援します。

##### 1. 政府の方針との整合性

GX推進戦略やクライメート・トランジション・ボンド・フレームワーク等の政府方針に整合する事業活動であること。

##### 2. GXに資する技術の社会実装又は事業の推進

我が国企業が保有する新技術など、GXに資する技術の社会実装又はこれを活用した事業の推進に寄与するものであること。

##### 3. 民間で取り切れないリスクの補完

民間金融機関等が真に取り切れないリスクが存在し、その補完が必要であること。

##### 4. 支援対象となる事業活動の持続可能性その他の総合判断

支援対象の事業活動の持続可能性のみならず、GXに関する施策への貢献、民間金融への呼び水効果、トランジションファイナンス、ブレンデッド・ファイナンス等の新たな金融手法への進展への寄与、良質な雇用をもたらす効果等を総合的に勘案し、金融支援が必要であること。

##### 5. 適切な経営・推進体制の確保

支援事業を効率的、効果的かつ確実に実施する体制の構築及び経営陣のコミットメントがあること。

##### (2) 金融支援に当たって同機構が努めるべき基準

次の1. から6. について、いずれも努めることとします。

##### 1. 金融支援の基本的な考え方

民間がとれるリスクかどうかを踏まえる一方で、リスク補完を行わないことでGX推進に停滞を招かないよう、取るべきリスクはしっかり取ることを旨として、金融支援を行うこ



と等。

2. 金融支援を推進する体制の確保

積極的な案件発掘、外部有識者の意見の聴取、専門人材等の確保等。

3. 政府全体の政策との連携

GXに関する施策をはじめとする政府全体の施策との連携。

4. GXの推進に向けた人材の育成

民間との積極的な人材交流やGX推進に関する学びの場の提供等。

5. ステークホルダーとの連携

多様なステークホルダーとの協働や関係省庁及び他の政府機関との連携。

6. 情報開示

情報開示を通じた運用の透明性の確保等。

関連資料

支援基準：<https://www.meti.go.jp/press/2024/08/20240813001/20240813001-1r.pdf>

関連リンク

GX推進機構ホームページ：<https://www.gxa.go.jp/#anchor03>

詳細につきましては、以下をご覧ください。

◇経済産業省ホームページ

<https://www.meti.go.jp/press/2024/08/20240813001/20240813001.html>

## 協会の動き

○JALOS 技術講習会「初級コース 試験・分析方法の体験研修」

7月24日（水）、25日（木）に開催。内容は前掲。

○第2回 エンジン試験専門委員会に参画

7月30日（火）に開催された、公益社団法人 石油学会主催による「第2回 エンジン試験専門委員会」に参画しました。

○第1回 技術分科会

7月31日（水）に、第1回 技術分科会（分科会長：三和化成工業株式会社 滝島 克巳 氏）を開催しました。審議内容は以下のとおりです。

(1) 2024年度事業の進め方について

(2) その他

○工作機械のトライボロジー研究会に参加

8月1日（木）に東京理科大学 森戸記念館で開催された、一般社団法人 日本トライボロジー学会主催による「工作機械のトライボロジー研究会」に参加しました。

○ISO・JIS 試験法分科会に参画

8月1日（木）に開催された、石油連盟主催による「ISO・JIS 試験法分科会」に参画し、ISO・JIS

原案について審議しました。

○2024 年度 DEO 技術委員会 第 1 回 動弁系摩耗、清浄性、燃費試験サーベイランスパネル会議

8 月 6 日（火）に、「2024 年度 DEO 技術委員会 第 1 回 動弁系摩耗、清浄性、燃費試験サーベイランスパネル会議」を開催しました。

○第 1 回 保安防災分科会

8 月 8 日（木）に航空会館において、第 1 回 保安防災分科会（分科会長：中外油化学工業株式会社 山内 茂 氏）を開催しました。議事内容は以下のとおりです。

- (1) 潤滑油製造業 BCP 等調査について
- (2) 2024 年度事業の進め方について
- (3) その他

## 【 信頼される依頼試験を提供します 】

当協会は、我が国で唯一の中立的な潤滑油の専門機関として相応しいスタッフ・試験設備を技術センターに整備し、一般試験から特殊試験まで、潤滑油全般にわたる各種試験の要望にお応えできる体制を整えています。

### 対象試験・分析項目

- 潤滑油剤の規格試験、○潤滑油剤の性能試験、○潤滑油剤の成分分析
- 潤滑油剤の特殊試験（エンジン試験、摩擦特性試験等）

各種試験のご依頼、ご相談等は下記までお問い合わせ下さい。

〒273-0015 千葉県船橋市日の出二丁目 16 番 1 号  
一般社団法人潤滑油協会 技術センター 一般試験室  
TEL 047-433-5181 FAX 047-431-9579  
URL <https://www.jalos.or.jp/>



## 今後の予定

○創立記念日

9 月 2 日

○潤滑剤等関連団体連絡会議

10 月 9 日 商工会館

○JALOS 技術講習会「初級コース・潤滑油添加剤」

10 月 24 日 前掲

○JALOS 技術講習会「初級コース・工業用潤滑剤」

11 月 12 日、13 日 前掲

○JALOS 技術講習会「初級コース・車両用潤滑油」

12 月 13 日 前掲

禁無断転載

発行日 2024 年 8 月 23 日

発行所 一般社団法人 潤滑油協会

〒273-0015

千葉県船橋市日の出二丁目 16 番 1 号

TEL 047-433-5181 (代表)

FAX 047-431-9579

印刷所 株式会社みつわ